

一之江防災チャレンジを振り返って 成果と課題

○6年間の見通しをもち、効果的に学習をすることができた。

各教科に防災に関わっていた年間指導計画を再構築することで、今まで単発的に行なっていた学習が、効果的に行われるようになりました。

また、「防災」と一言でいっても、実は、学校で「防災」に関わる学習がたくさんあることを知りました。教科では、理科、社会科、図画工作科、生活科、総合的な学習の時間、そして、伝え合う学習として国語、ICTも活用しました。防災が他の学習と関連付けて学ぶことによって、子供たちの理解と意識が深まりました。

○防災への意識の高まり

この学習を進めていくにしたがって、江戸川区、一之江小学校の立地を考えると災害に備えなければならないことを知りました。今、私たちには災害への備えとして、「マイタイムライン」、「ハザードマップ」、「東京防災」などの資料が配られていますが、それらをしっかり活用し、準備をすることが大切であることが分かりました。

●持続的な学習

今年度の学習を通して、防災を柱にした学習は、本校の実態からも重要であり、学習としても多くの教科に関係して、それぞれの教科での学びを深めていく必要があります。今後も継続していくためには、改めて全学年の見通しと、各教科とのつながりを意識して年間指導計画を作成していく必要性を感じました。



最後に、この写真をご覧ください。これは8月24日に実施した一之江防災チャレンジで撮った記念写真です。ここには、役所、消防署、PTA、地域、学校と多くの方々がいっしょにいます。このように今年度の学習は、多くの方々に支えられて実施することができました。今後も学校が起点となり、地域とともに防災教育を進めてまいります。